

2012年第3四半期の業績を発表

(このプレスリリースは、2012年10月18日に米国ボストン・サイエンティフィック社が発表したプレスリリースを翻訳したものです。)

ボストン・サイエンティフィック社(本社: マサチューセッツ州ネイティック、NY 証券取引所略号:BSX)は本日(2012年10月18日)、2012年9月30日締め第3四半期の業績ならびに修正後1株当たり利益(EPS)を発表しました。売上高は17億3,500万ドル、修正後EPSは0.16ドルでした。米国のカーディアック・リズム・マネジメント(CRM)事業部門に関する営業権の減損費用として見積もりベースで8億900万ドル(税引き前、税引き後ともに)を計上したことが大きく影響し、GAAPベースでは、1株あたり0.52ドルの損失となり、事前のEPS指針を下回りました。

第3四半期の業績および最近の出来事:

- 売上高は17億3,500万ドルを計上し、リポーテッドベースで7%の減少、為替変動の影響と売却事業による売上を除くと5%の減少となり、会社の指針の範囲内における下限となった
- 修正後EPSは0.16ドルと、0.14ドルから0.17ドルという会社の修正後EPS指針の範囲の上限を達成した。
- 営業キャッシュフローは2億7,100万ドルと堅調に推移
- 2011年に承認された自社株買い戻しに基づき約4,600万株の買い戻しを実施した。これで過去18ヵ月間に買い戻した自社株は総計で1億6,900万株(発行済み株式の11%に相当)に達した
- 会社は規制機関から2件の重要な承認を取得した。
 - 世界初で唯一市販されている皮下植込み型除細動器であるS-ICD[®]システムが米食品医薬品局(FDA)の承認を取得
 - パーキンソン病治療を目的としたVercise[™] 脳深部刺激(DBS)装置の使用におけるCEマークの承認を取得し、新たな治療カテゴリーに参入
- 会社は2件の戦略的買収を実行した。
 - 冠動脈慢性完全閉塞(CTO)治療を目的とした独自のカテーテルベース・システムを開発してきたブリッジポイント・メディカル社
 - 電気生理学的検査に用いられるマッピングおよびナビゲーションにおいて次世代ソリューションの開発を手がけるリズム・ア・メディカル社

「当社のカーディオロジー事業における競争激化や厳しい市場環境にもかかわらず、修正後利益とフリーキャッシュフローの目標を引き続き達成し、ほぼすべての事業において明るい業績見通しを示す1年になりました」とボストン・サイエンティフィック社のCEOであるハンク・クッシュマンは述べています。また、「最近の承認の取得や買収からも明らかのように、再び増収を達成できるように、今後も当社の戦略を全力で実行し、コストの最適化に取り組みます」とも述べています。

2012年第3四半期業績

2012年第3四半期の売上高は17億3,500万ドルで、2011年第3四半期の売上高18億7,400万ドルに比べて7%減少しました。為替変動の影響と売却した事業による売上高を除くと、前年同期比で5%の減少となりました。

全世界での為替変動の影響を除いた第3四半期の売上高は次の通り(リポータードベース):

<i>in millions</i>	Three Months Ended		Change			
	September 30,		As Reported		Constant	
	2012	2011	Currency	Currency	Basis	Basis
Interventional Cardiology	\$ 494	\$ 613	(20)	%	(17)	%
Cardiac Rhythm Management	462	503	(8)	%	(6)	%
Endoscopy	310	298	4	%	7	%
Peripheral Interventions	189	182	4	%	7	%
Urology/Women's Health	125	124	—	%	1	%
Neuromodulation	88	84	5	%	5	%
Electrophysiology	35	36	(2)	%	—	%
Subtotal Core Businesses	1,703	1,840	(7)	%	(5)	%
Divested Businesses	32	34	N/A		N/A	
Worldwide	\$ 1,735	\$ 1,874	(7)	%	(5)	%

成長率は四捨五入しない実数値であり、再計算しない。

第3四半期において、米国 CRM 市場規模の縮小とそれに伴う CRM 事業の再編、さらには CRM 事業の業績が事前予想を下回る原因となった競争上の要因などの理由により、米国の CRM 事業部門に関連する営業権の減損費用として8億900万ドル(税引き前、税引き後ともに)の支出を伴わない費用を計上しました。その結果、GAAP ベースで、2012年第3四半期のEPSは事前の指針を下回り、会社が見直した通年のEPS指針にはこの結果が反映されています。営業権の減損費用の金額はまだ最終決定されていませんが、7億ドルから9億ドルの範囲内に収まると予想しています。

GAAP ベースの2012年第3四半期の純損失は7億2,500万ドル(1株当たり損失0.52ドル)でした。この業績は、営業権などの無形資産の減損費用、買収や事業売却関連の正味費用、組織再編・訴訟関連の費用、分離課税金額および償却費用として9億4,600万ドル(1株当たり0.68ドル)を含みます。これらの費用を含めない2012年第3四半期の修正後純利益は、2億2,100万ドル(1株当たり0.16ドル)でした。

GAAP ベースの2011年第3四半期の純利益は1億4,200万ドル(1株当たり0.09ドル)でした。この業績は、無形資産の減損費用、買収関連の費用、売却関連の正味費用、組織再編関連の費用、税制上の優遇措置、そして償却費用の8,100万ドル(1株当たり0.06ドル)を含みます。これらの費用を含めない2011年第3四半期の修正後純利益は、2億2,300万ドル(1株当たり0.15ドル)

でした。

2012年第4四半期および通年の指針

ボストン・サイエンティフィック社は、2012年第4四半期の売上高を17億4,000万ドルから18億1,500万ドルの範囲内だと予想しています。また、GAAPベースの1株当たり利益は0.06ドルから0.09ドルの間になる見込みです。買収・組織再編関連の費用と償却費用を含めない修正後利益は、1株当たり0.15ドルから0.18ドルの範囲内と予想しています。

ボストン・サイエンティフィック社は、2012年通年の売上高を71億6,800万ドルから72億4,300万ドルの範囲内だと予想しています。また、GAAPベースの1株当たり損失は2.86ドルから2.89ドルの間になる見込みです。営業権などの無形資産の減損費用、買収・売却関連の正味費用、組織再編・訴訟関連の費用、個別の税目、および償却費用を含めない修正後利益は、1株当たり0.63ドルから0.66ドルの範囲内だと予想しています。

電話会議についての情報

ボストン・サイエンティフィック社の役員は、本日(10/18)午前8時00分(東部標準時)より、これらの業績に関してアナリストと電話会議を行う予定です。ボストン・サイエンティフィック社は、電話会議の様子を会社ウェブサイトのIRのセクション www.bostonscientific.com/investors で配信します。アクセス方法の詳細についてはこのウェブサイトでご確認ください。この電話会議の様子は、ボストン・サイエンティフィック社のウェブサイトにて約1年間配信する予定です。

将来予測に関する記述についての注意事項

このプレスリリースには、証券法(1933年制定)第27A条および証券取引法(1934年制定)第21E条の意味するところの将来予測に関する記述が含まれています。「予期する」「期待する」「予想する」「信じる」「計画する」「推定する」「意図する」などの語句を用いた表現が将来予測の記述となりますが、これらの記述は現時点で得られた情報による確信、想定、推定に基づくものであり、将来の事象や実施を保証することを意図するものではありません。将来予測の記述には、純売上高、2012年度第3四半期および通年の修正後利益・GAAPベースの業績・修正業績についての予測、営業権評価損およびその他の減損費用、財務成績、製品市場と市場シェア、コスト削減の取り組みおよび成長イニシアチブ、私たちの成長の位置づけなどに関する記述なども含まれます。基本的前提が結果的に不正確であった場合、もしくは一定のリスクや不確実な要素が具体化するような場合には、将来予測に関する記述で明示または含意された見込みおよび予測と実際の結果が大幅に異なる可能性があります。これらのリスクや不確実な要素は、事業戦略の実施能力に対して実際に影響している場合や、将来的に実施能力に影響を及ぼす可能性があり、本プレスリリースの記載で予期した結果と実際の結果が大幅に異なる状況をもたらすことがあります。そのため、本プレスリリースの読者は将来予測に関する記述について全面的に依拠することを避けるよう注意してください。

このような相異をもたらすリスクや不確実な要素には、将来の経済、政治、競争入札、償還、法および規制の諸条件、新製品の導入、市場における新製品の受容、米国のCRM事業などの製品市場、市場価格、手続き量、臨床試験の結果、人口統計学的動向、知的所有権および関連その他の訴訟、金融市況、営業権の減損費用概算の決定、コスト削減の取り組みおよび成長イニシアチブを含めたビジネス戦略の実施と影響、ボストン・サイエンティフィック社および競合他社の将来的な経営上の意思決定などがあります。新た

なりリスクや不確実な要素が時として生ずる可能性があり、予想は困難です。これらの要因すべてを正確に予測することはほとんど不可能であり、また、多くは制御できません。ボストン・サイエンティフィック社の将来的な経営に影響する可能性のある要因ならびにその他の重大なリスクに関する概要および詳細な一覧については、証券取引委員会に提出した、最新の 10-K 年次報告書パート I 1A 項目「危険因子」を参照してください。なお、この内容は、提出済みもしくは提出予定の 10-Q 四半期報告書パート II 1A 項目「危険因子」で更新されることがあります。ボストン・サイエンティフィック社は、見込みの変更やその根拠となる事象、条件、状況の変化など、将来予測の記述に記載された内容と実際の結果が異なる可能性に影響を及ぼすような変化について、それらを反映するように将来予測に関する記述の内容を公に更新または改訂する意思および義務を一切否認します。本注意事項は本プレスリリースに記載された将来予測に関するすべての記述に適用されます。

非 GAAP による財務情報の使用

ボストン・サイエンティフィック社の非 GAAP (一般会計原則) の数値を対応する GAAP の数値に調整したもの、およびボストン・サイエンティフィック社がこうした非 GAAP の数値を使用する理由につきましては、本プレスリリースに付属の別紙をご覧ください。

連絡先:

スティーブン・カンパニーニ
508-652-5740 (社内)
Steven.campanini@bsci.com
メディア向け情報担当

デニス・カイグラ
508-650-8330 (社内)
denise.kaigler@bsci.com
メディア向け情報担当

マイケル・キャンベル
508-650-8023 (社内)
investor_relations@bsci.com
投資家向け情報担当

<ボストン・サイエンティフィック社について>

ボストン・サイエンティフィック社(米国マサチューセッツ州)は、最先端メディカルデバイス(医療機器)の開発・製造・販売を行うグローバル企業です。インターベンション(身体をメスで大きく切らない治療)の分野では世界最大手。

<http://www.bostonscientific.com>

このプレスリリースに関するお問い合わせ先

プレスルーム (コーポレート・コミュニケーションズ)

TEL : 03-3343-9411, FAX : 03-3343-0264

E-mail でのお問合せはこちらへ (pressroom@bsjkk.co.jp)

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社